

令和3年度  
市民提案型パートナーシップ事業  
事業報告会  
令和4年度事業説明会

日時 令和4年3月28日

14:00~

会場 あやめ会館3階

多目的ホール



## 次 第

### 1 開会

### 2 副市長挨拶

### 3 事業報告（4団体）

事業報告／概要や成果、今度の展望等（1団体 10分程度） 質疑応答（1団体 5分程度）
--

(1) 江間郷土研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(2) ダンスで地域を元気にし隊・・・・・・・・・・・・ 7

(3) IZUCCO 制作実行委員会・・・・・・・・・・・・ 13

(4) チーム防災いすのくに・・・・・・・・・・・・ 19

4 令和4年度事業説明・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

### 5 閉会

令和3年度 市民提案型パートナーシップ事業

「江間地区の歴史発掘調査活動と教育実践活動」

報告会資料



江間郷土研究会

× 観光課

## 1. 事業の目的

北条義時公の歴史的功績を地域住民をはじめ全国に周知することにより、江間地区を全国に PR するとともに、江間地域の文化財の保護や活性化につなげ、次世代に継承することを目的とする。

## 2. 事業の概要

- ・北条義時公の功績を広く SNS やメディアを通じて PR
- ・北条義時公の紙芝居、すごろく、検定クイズ等（温泉場お散歩市）の作成
- ・北条義時公出前講座の実施
- ・イベント等における PR ブース出店
- ・江間地区文化財、地区の民話（大蛇伝説）等を全国に PR・発信
- ・小冊子、パンフレットの発行
- ・豆塚神社内西防災倉庫を活用した北条義時公関連資料等の展示

## 3. 令和3年度の活動内容

日時	時間	場所	内容（参加者等）
R3.4.11	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
5.9	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
5.14	10:00~11:00	豆塚神社	修善寺旅館組合視察対応（22人）
6.6	19:00~21:00	町屋公民館	江間郷土研究会発足式（第1回総会）
6.13	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
6.26	19:00~21:00	江間防災センター	江間郷土研究会定例会（第2回）
7.6	11:30~12:00	FMいずのくに	FMいずのくに番組出演（第1回）
7.11	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
7.24	19:00~21:00	江間防災センター	江間郷土研究会（第3回）
8.3	11:30~12:00	FMいずのくに	FMいずのくに番組出演（第2回）
8.7	13:00~15:00	町屋公民館	すごろく作り（第1回）
8.8	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い

8.9	10:00~11:00	町屋公民館	町屋サロンにて北条義時公講座開催
9.21	9:00~12:00	豆塚神社	資料館展示準備(展示板の設置)(第1回)
9.30	9:00~12:00	豆塚神社	資料館展示準備(展示物掲示)(第2回)
10.4	12:30~13:30	FMいずのくに	FMいずのくに番組出演(第3回)
10.7	13:00~15:00	すごろく作り	すごろく作り(第2回)
10.10	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
10.16	19:00~21:00	江間防災センター	江間郷土研究会(第4回)
10.17	13:30~15:00	町屋公民館	資料館展示準備(梁銘板レプリカ額作成)(第3回)
10.18	12:30~13:30	FMいずのくに	FMいずのくに番組出演(第4回)
10.21	13:30~16:00	町屋公民館	資料館展示準備(絵巻額作成)(第4回)
10.24	13:30~15:00	町屋公民館	すごろく作り(第3回)
10.25	12:30~13:30	FMいずのくに	FMいずのくに番組出演(第5回)
11.11	11:15~	長岡北小学校	特別授業(北条義時公と豆塚神社について)
11.12	10:00~11:00	町屋公民館	北条義時公“承久の乱”戦勝800年祭と“お陰さまで”の会
11.13	19:00~21:00	江間防災センター	すごろく作り(第4回)
11.14	9:00~12:00	温泉場通り空き店舗	お散歩市大河ドラマ関連紹介ブース手伝い
11.20	9:00~12:30	町屋公民館	すごろく作り(第5回)
12.13	13:00~15:00	町屋公民館	すごろく作り(第6回)
12.18	19:00~21:00	江間防災センター	江間郷土研究会定例会(第6回)
12.23	10:00~11:30	豆塚神社	NHK ロケ隊下見の立ち合い
12.27	14:00~15:00	北条義時公歴史館	展示物の貼り付け
12.28	9:00~10:00	北条義時公歴史館	展示物の貼り付け
12.30	9:00~10:00	北条義時公歴史館	展示物の貼り付け
R4.1.10	14:00~17:00	豆塚神社	NHK ロケ隊迎える準備
1.11	10:30~12:00	豆塚神社	NHK ロケ隊撮影立ち合い

1.12	13:30~17:30	豆塚神社	観光看板設置立ち合い
1.14	9:00~10:00	大河ドラマ館	内覧会へ出席
1.14	10:00~11:00	豆塚神社	1/16 予定の紙芝居リハーサル立ち合い
1.15	8:30~9:30	大河ドラマ館	ドラマ館オープン祈念式典へ出席
1.15	10:30~16:30	豆塚神社	北条義時歴史館オープン、すごろく完成
1.15	19:00~20:45	防災センター	江間郷土研究定例会（第7回）
1.18	10:00~11:00	南江間公民館	仲之台サロンにて北条義時公講座開催
1.18	15:00~16:00	豆塚神社	錦田郷土研究会視察
1.21	13:00~16:00	豆塚神社	神社拝礼時の作法等勉強会他

#### 4. 事業の成果

- ・定例会：毎月第3土曜日、19:00~江間防災センターにて、北条義時公ミニ講座つき（8.9月は新型コロナウイルス感染拡大につき中止）
- ・FMいずのくに出演5回
- ・すごろく作り6回
- ・資料館開館準備7回
- ・資料館来訪者への説明（毎週日曜日 10時~16時）
- ・お散歩市手伝い7回

#### 5. 今後の展望

令和3年度は、大河ドラマ放映を契機に観光交流客が増加するなかで、江間地区のPR活動に尽力し、発信することができた。今後も継続的に江間地区の魅力を発信し、賑わいのあるまちづくりの一助となるように努めていきたい。

#### 6. 写真や新聞記事等

① 温泉場お散歩市大河ドラマ関連ブース

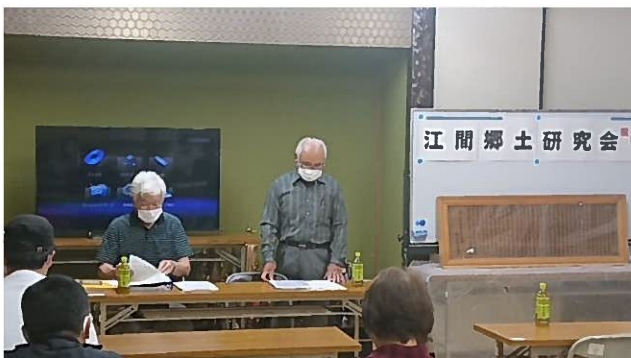


②新聞記事

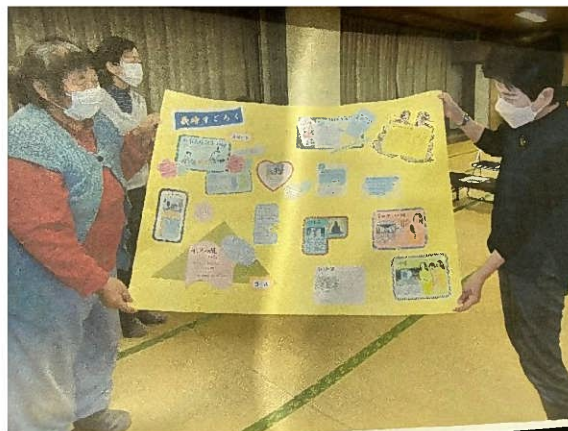




③ 江間郷土研究会総会



④ すごろく制作



⑤ 山下正行市長と面会（今後の活動について）※7月時点



⑥ 北条義時公「承久の乱」 戦勝 800 年祭







## 令和3年度 市民提案型パートナーシップ事業

「ダンスを通じた発育・健康支援・交流増加、賑わい創出」

報告会資料



「元気と笑顔を発信」

ダンスで地域を元気にし隊

× 学校教育課・幼児教育課

### 1. 事業の目的

伊豆の国市を元気にしたい！

ダンスを通じて市内の児童等の健全育成や高齢者の健康促進に継続的に取り組み、また各種イベントを通じた世代間交流及び地域間交流を行うことで、市民福祉の向上及び地域の賑わいの創出を目的とする。

身体を動かす楽しさや、自分を自由に表現できる面白さを伝える。

### 2. 事業の概要

希望のあった放課後児童教室（学童）や市内幼稚園や保育園に、講師が赴き数回にわたって無料のダンス教室を開催することで児童の発育・健康支援を実施する。

初心者や年齢に合わせて、ゆっくり丁寧に指導を行い、ストレッチ、リズムトレーニング、ステップなど基礎から徐々にダンスの特性を習得する。

### 3. 令和3年度の活動内容

学童：3箇所 2回ずつ / 幼稚園：3箇所 3回ずつ

開催場所	日時	人数（学年等）	備考
長岡南小学童	7/26(月)	90人（小1～小6）	2回目はコロナで中止
大仁小学校 （すすかけ館）	7/28(水)	55人（小1～小4）	
	8/5(木)	50人（小1～小5）	
大仁北小学校 （あすなろ館）	7/29(木)	45人（小1～小5）	2回目はコロナで中止
長岡幼稚園	10/6(水)	①26人(年長)②22人(年中)	
	10/15(金)	①26人(年長)②22人(年中)	
	10/26(火)	①26人(年長)②22人(年中)	
共和幼稚園	10/11(月)	33人（全生徒）	
	10/20(水)	33人（全生徒）	
	10/25(月)	33人（全生徒）	
田京幼稚園	11/2(火)	①32人(年小,中)②25人(年長)	
	11/8(月)	①32人(年小,中)②25人(年長)	
	11/15(月)	①32人(年小,中)②25人(年長)	

#### 4. 事業の成果

学 童：夏休み期間を利用。ダンスとは「？」ハテナだった子供も最後には笑っていた。個人差はあるけれど、みんなそれぞれダンスを体感してくれていた。

幼稚園：2学期の授業を利用。体を使って自由に表現することで本来の自分を見つける。無限大の可能性がたくさんあった。

#### 5. 今後の展望

何よりも私自身がとても幸せでした。

継続して多くの市民の方々にダンスの楽しさを伝えていきたいと感じました。

来年度は、シニアの方と音楽を爆音で聴きながらリズムをとったり、椅子に座りながら「踊るヒップホップ！」的なものもやってみたいと思います。

#### 6. 活動の写真や新聞記事など



夏休みに、ヒップホップダンス教室をかいさいします。  
みんなでさんかしてください。

と き

- ① 7月29日(木) 午前9時～(1時間ほど)
  - ② 8月17日(火) 午前9時～(1時間ほど)
- ※1回だけのさんかでもできますが、2回ともさんかした方がたのしみです！

ところ 大仁北小学校体育館

おしえる人

中村まりかさん(MARIKADANCE STUDIO)

さんかできる人

あすなろ館にかよっている児童

※当日のあすなろ館に「しゅっせき」すればさんかできます。

もちもの

体育館シューズ、タオル、のみもの

問合せ 市役所学校教育課 ☎055-948-1444





小学校  
学童の様子

夏目さん作成の告知 DVD



ストレッチ中





幼稚園の様子

保護者見学の日があり緊張しました…（長岡幼稚園）



3回目にステージでミニ発表









小学校 **3** 年生から **6** 年生が  
**プロ** のクリエイターから学び  
街を取材してつくる  
**伊豆の国市** のローカルマガジン

**IZUCCO**  
制作実行委員会



2021年度  
伊豆の国市市民提案型  
パートナーシップ事業 報告会

＼20年後の伊豆の国市を支える人材を育てる／

小学生とプロが作る 伊豆の国市のローカルマガジン

**IZUCCO (いずっこ)**

IZUCCO制作実行委員会 × 伊豆の国市 政策戦略課

## なぜやるか？



**20**年後には人口が**20**%

**減**



人口減少

## なぜやるか？

発起人の中野  
4歳と6歳の母

我が子に「伊豆の国市ってどんなところ？」  
と聞かれて答えられなかった。。。



「自分の育ったまちには、何もない」  
「都会で暮らしたい」



進学や就職で伊豆の国市を離れる



伊豆の国市には戻らず 結婚・子育てをする



20年後の伊豆の国市を  
支える人材の育成に  
今から取組む必要がある

# 誰がやるか？

伊豆の国市 近隣に住む **母親** を中心に  
2019年に発足

IZUCCO制作実行委員会

実行委員 4名 サポートスタッフ 7名



# 何をやるか？

## プロから学ぶ



カメラマン  
新聞記者  
イラストレーター  
ライター

## まちを取材



狩野川ボートくんだり  
元プロバスケ選手  
温泉まんじゅう屋  
マウンテンバイク

## 冊子を発行

伊豆の国市の  
地域情報誌  
IZUCCO (いずっこ)  
の発行



# 実施スケジュール

2月下旬	実行委員会で来年度の取材先や方針を会議
3月初旬	各取材先、講師へオファーおよび日程調整
4月初旬	参加対象者全員に学校から募集チラシ配布（教育委員会）
4月下旬	参加者応募締め切り
<hr/>	
5月 8日	オリエンテーション・講座（取材／カメラのコツ）
5月15日	市内3カ所を取材（黒柳／木工作家／いちご農園）
6月13日	狩野川河川敷でマウンテンバイクとアマゴ釣り体験
6月19日	講座（イラスト／ライティングのコツ）・元バスケ選手取材
<hr/>	
6月 - 7月	参加者は自宅にて文章、イラストなど冊子の素材を作成
8月-10月	実行委員会とデザイナーにて編集作業・印刷
<hr/>	
11月6日	村の駅 伊豆のへそにて完成披露発表会

## 政策戦略課様と協働

- ・広報いずのくに に活動の様子を掲載
- ・取材、講座時の備品の手配および貸出
- ・完成披露発表会の設営、備品の手配および貸出、設備搬入出

※マウンテンバイク、あまご釣り体験は 伊豆の国市観光課様、  
ひとつなぎ伊豆の国。様、狩野川漁業協同組合様にご協力いただきました。

## 講座会場

くぬぎ会館およびオンライン（東京の講師とzoomを繋いで実施）

## 対象

伊豆の国市および近隣の小学3年生から6年生

## 参加者（定員12名）

3年生：2名 4年生：0名 5年生：6名 6年生：2名 中学生：1名  
（12名中 vol.1からのリピーター6名）

## 参加費

5,000円（保険料込）





プロクリエイターから学ぶ

# 講座レポート

取材のコツ



講師：静岡新聞大仁支局長 小澤 佑太郎氏

- ・人に伝えるために必要な情報とは
- ・正確に伝えるには
- ・インタビューの練習など

講師：STUDIO SHIZUKU 池田 明貴範氏

- ・撮りたい写真を撮るために必要な  
事前の準備とイメージについてなど

カメラのコツ



ライティングのコツ



講師：伊豆経済新聞 編集長 榎 昭裕氏

- ・読み手がワクワクする文章の書き方
- ・伝え方の練習など

イラストのコツ



講師：イラスト教室主宰 齋藤 遥加氏

- ・撮りたい写真を撮るために必要な  
事前の準備とイメージについてなど

市内の「いいところ」を体験

# 取材レポート

## 取材にご協力いただいた皆様

- アドベンチャーサポート様
- 波多野和也様、五月様
- 神田農園 いちご屋様
- MERIDA XBASE様
- 工房 Rokumoku様
- 狩野川漁業協同組合様
- 元祖温泉まんじゅう 黒柳様



# 発表会の様子

日時 2021年 11月6日（土）  
 於 道の駅 伊豆のへそ

山下市長はじめ、来賓、保護者、関係者など  
 約100名ほどの方にご覧いただきました。



# メディア掲載

Yahoo!ニュース 2021.11.12

伊豆の国市で小学生制作フリーペーパー完成披露発表会  
 子どもの地元愛醸成を目指す



沼津経済新聞

伊豆日日新聞 2021.11.7



静岡新聞 2021.5.9



伊豆日日新聞 2021.5.22



広報いずのくに 2021.6月号・7月号



# 得られた効果と今後の展望

- ・全参加者が「次も参加したい」と回答！（2021.11.6 実施アンケートより）
- ・保護者から次年度スタッフとして活動したいと申し出！
- ・2022年度は対象者を小学生＋中学生に広げ よりクオリティの高い地域情報誌へ！
- ・現在の参加者が高校生、大学生になる頃に「IZUCCO編集部」を発足！  
 本活動をリードする地域のプレイヤーに！
- ・高校生、大学生、社会人となっても「IZUCCO」を通じて地域に関わりを持つ人を増やし、20年後の伊豆の国市を支える人材を育成する！

もし明日  
台風が来ると  
わかっていたら  
あなたは  
どう行動しますか？

令和3年度市民提案型パートナーシップ事業 活動報告

チーム防災いずのくに×危機管理課



ホームページ



活動のきっかけ

2019年10月12日

**台風19号  
静岡県に上陸**

狩野川台風  
再来か?!

【伊豆の国市で避難した人の総数】 **約3,650人**

???

ほとんどの人が  
ひなんのことを  
よく知らない

役所がそのことに  
気づいていない

ひなん場所では  
どうだった?

私はどこに  
ひなんするの?

食べるもの、  
もらえないの?

まわりが  
うるさくて  
イヤ!

赤ちゃんが  
いるんだけど  
ひなんできる?

困った～  
スマホの充電が  
できないよ!

え?!  
ここって、  
ひなんするところじゃ  
ないの?

なにを  
持っていったら  
いいの?

台風が来る前の準備のこと、  
みんなにも  
知っといてもらおうよ!

「防災かるた」と  
「防災ふろしぎ」  
を作ったよ!

一時避難の持ち出し品を整理するため

健康な人

子育て  
関係

220名に配布

アンケートを実施

障がい者  
関係

高齢者

回収率  
83%

183名から回答

なるほど!

発見

それは  
知らなかった!

気づき

3年度  
実績

2年度実績

防災かるた  
避難の備え

一時ひなん防災かるた「いずのくに」と一時ひなん防災風呂敷「ittoki」を活用した

今年度講座開催回数 3/20 現在  
13回 延 人参加



防災かるたは講座開催時に購入希望者が多かったので製品化  
伊豆の国市長に完成報告（各メディアが取材してくれました）



報道 テレビ静岡・daiichiTV・静岡新聞・伊豆日日新聞様  
テレビ局両局は夕方の番組やニュースにて放映、  
新聞2社は10/6付朝刊にて掲載していただきました。

そのことがきっかけで daiichiTV 毎週土曜日放送番組「防災チェック」にて2週放送していただきました



製品化した500箱は約1ヶ月で完売。追加で500箱製造





アンケートから持ち出し品を書き出したもの（昨年度実施）から、一時ひなん防災風呂敷「ittoki」完成報告会



朝日テレビより取材依頼（4/3 予定）

その他

- ・SBS ラジオ出演「防災プロジェクト Team Buddy」電話出演
- 後に、チームとかるたのことをSBS ラジオからNHKの朝のラジオ番組でも紹介
- ・FM いずのくに「防災スイッチ」出演
- ・伊豆長岡温泉温泉場お散歩市に参加。
- ・熱海での土石流災害を受け、伊豆日日新聞様、追記事（8/13 付け）
- ・令和3年度後期

マックスバリュ伊豆長岡店イオンの黄色いレシートキャンペーン参加

- ・伊豆長岡温泉温泉場お散歩市 参加
- ・静岡県男女共同参画センター「あざれあ」でのあざれあメッセに参加
- ・伊豆箱根鉄道長岡駅売店にてかるた販売開始
- ・県立田方農業高校 ライフデザイン科での出前講座
- ・静岡県コミュニティづくり推進協議会コミュニティ活動 奨励賞受賞
- ・あざれあメッセ参加と地域づくり推進課主催男女共同参画映画上映会での防災ラボの共同開催に合わせ、

地域づくり推進課協力のもとチーム紹介動画作成



**一時避難**を知ろう！

**自助**の大切さ

**自分のことは  
自分でやる  
習慣をつけよう！**

これが  
自助のキホン



## 令和4年度 伊豆の国市市民提案型パートナーシップ事業

# 募集要領

### ○ 募集期間

4月1日(金)~21日(木)

### ○ 審査期間 (予定)

4月~5月

### ○ 協定締結 (予定)

6月1日

パートナーシップ事業に関するご相談・お問い合わせ

伊豆の国市 企画財政部 協働まちづくり課

電話 055(948)1412

FAX 055(948)2915

メール [kyoudou@city.izunokuni.shizuoka.jp](mailto:kyoudou@city.izunokuni.shizuoka.jp)



ホームページはこちら↑

## 1 市民提案型パートナーシップ事業とは？

地域の課題解決に向けて行政単独では解決できない、または市民だけでは解決できない場合に、お互いの不足を補い合いながら協力して課題解決に向けた取り組みについて、市民の皆さまより提案をしていただき、その提案内容について、「審査委員会」により公平に審査・採択し、市民と行政とが対等な立場で、それぞれ役割を担って実施するものです。

## 2 対象となるはどんな事業？

- (1) 公益的または社会貢献的な事業で、提案するNPO、市民活動団体等と市が協働で取り組むことで、課題解決が図られ、市民福祉の向上が期待できるもの
- (2) 単独で実施するよりも、NPO、市民活動団体等と市とが協力・連携して実施するほうが、より高い効果が期待できるもの
- (3) NPO、市民活動団体等のアイデアや、専門性等を生かすことができるもの
- (4) 協働事業として実施するにあたり、NPO、市民活動団体等と市が明確かつ適切に役割分担できるもの
- (5) その主たる効果が、市内において生ずるもの

ただし、上記の項目に該当しても、以下に該当する場合は対象となりません。

- (1) 営利を目的とするもの
- (2) 宗教に関わるもの
- (3) 政治活動に関わるもの
- (4) 公序良俗に反するもの
- (5) 国、地方公共団体、公益法人等これらに類する団体からの助成を受けているもの

ご注意！

※ 応募できる事業は、1団体につき1事業とし、事業開始から3年間継続ができます。

## 3 応募できる団体の要件って？

次に掲げる事項をすべて満たすことを要件とします。

- (1) 営利を目的とせず、自主的に公益的な活動を行う団体（NPO、市民活動団体、ボランティアグループ、自治会、地域づくり協議会等）であること
- (2) 5人以上の会員で組織していること
- (3) 組織の運営に関する規約、会則等があること
- (4) 会計処理が適切に行われていること
- (5) 次のいずれの事項にも該当しないこと
  - ・ 宗教の教義を広め、儀式等を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とするもの
  - ・ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とするもの
  - ・ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とするもの
  - ・ 特定非営利活動促進法第12条第1項第3号に規定する団体（暴力団又はその統制の下にある団体）



## 4 事業期間と市の負担金

### 《事業期間》

4月1日から翌年3月31日までの単年度事業とします。

### 《市からの負担金》

- 1事業あたり上限20万円。

負担を希望している全額が必ず認められるとは限りません。実際の負担金額は、事業計画を精査したうえで決定します。

- パートナーシップ事業の事業費と直接関わりのない経費（組織自体を維持するための経費、団体単独の活動経費等）、人件費、備品購入費、会食費（事業活動中の水分補給等を除く）は、市の負担金の対象外となります。

## 5 提出書類

- ①申込書、②提案書、③収支予算書、④団体概要書、⑤誓約書、⑥団体の規約・会則等
- ⑦役員・会員名簿（①から⑤の様式は、市のホームページからダウンロードできます。）

これらの書類を年4月1日(金)～21日(木)の間に、協働まちづくり課に直接または郵送にて提出ください（郵送した場合は、提出後に確認の電話を入れてください）。

## 6 提出後のながれ

- (1) 市パートナー候補課との事前協議等

第1回審査委員会で決定された事業のパートナー候補課と提案団体とで、提案された事業の企画内容や役割分担等について事前の協議を行い、事業の効果がより高まるように企画内容を磨き上げます。内容に修正が生じた提案団体は、修正した書類を再提出してください。

- (2) 審査・選考及び協定の締結

提案されたすべての事業について、第2回審査委員会にて審査を行い、採択事業を決定します。その後、事業実施が決定した団体と市は、基本事項や役割分担、市の負担金額などを明示した協定を締結し、事業実施に入ります。

## 7 審査のポイント

審査委員会では、以下の審査項目について、評価します。

	審査項目	視 点
1	協働性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NPO、市民活動団体等と伊豆の国市双方の目標を達成することができ、かつ相乗効果を得られることが期待できるか。</li><li>・ 提案団体と市との役割分担が適切か。</li></ul>
2	公益性・必要度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の課題解決につながり、広く市民に貢献する事業か。</li><li>・ 時代や市民のニーズに即しているか。</li></ul>



3	特 性	・ N P O、市民活動団体等の専門性を活かしているか。
4	実 現 性	・ 事業計画、収支予算、スケジュールなどが実現可能か。
5	組 織	・ 事業を遂行する能力を有している団体であるか。

## 8 年間スケジュール（予定）

応募・申込み	4月1日(金)～ 4月21日(木)	提案する団体は、すべての提出書類を揃え、直接又は郵送にて申込み
↓		
第1回 審査委員会	5月上旬	事業の市担当課（パートナー候補課）決定
↓		
事前協議等	パートナー候補課決定後	市担当課と提案団体が、提案された事業の内容や役割分担などを協議し、企画内容を磨き上げる
↓		
第2回 審査委員会	5月下旬	提案されたすべての事業の審査、実施事業の決定
<事業実施が決定した場合> ↓		
協定書の締結	6月1日	提案団体は、事業実施までに市と基本事項や役割分担などを明示した協定書を締結
↓		
事業の開始 (4月から実施していても問題ありません)	6月～	パートナーシップ事業の実施 情報交換・意見交換等の実施
↓		
中間報告 (事業紹介)	9月～10月	市内の施設やHP上で事業紹介シートの掲示を実施
↓		
事業の終了	事業終了後	事業の実施報告書や収支決算書等の提出
事業報告会	3月下旬	事業報告会での報告